

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（特別研究・一般研究）

研究代表者 所属・職名 人文・社会教育学系・教授
氏 名 大場 浩正

研究期間 平成30年度～平成31年度
(令和元年度)

研究プロジェクトの名称	小学校英語指導におけるファシリテーション技術を取り入れた協同的な活動の開発
研究プロジェクトの概要	<p>本研究の目的は、ファシリテーション技術に基づいた小学校の外国語（英語）教育における効果的な指導方法（準備段階も含める）と教材を開発し、実践することであった。平成30年度は、上越市立浦川原小学校において、校内研修の中心としている「外国語活動・外国語の授業づくり」を、申請者及び研究協力者がファシリテーション技術を取り入れながらサポートした。平成31年度（令和2年度）は、糸魚川市立下早川小学校において、ファシリテーション技術の1つであるホワイトボード・ミーティング®を基にした協同的な活動を行った。</p>
<p>研究成果の概要</p> <p>※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。</p>	<p>研究の成果として以下の3点があげられる。</p> <p>(1) 児童の発表に対する不安を軽減するだけでなく、子どもたちの動機付けを高めることができた。</p> <p>(2) 児童たちの話し合うことに対する肯定的な意識を向上させることができた。</p> <p>(3) 自分の力を仲間のために使うことに対する肯定的な感情を高めることができた。</p> <p>また、令和2年度から教科化される小学校英語に対して、英語教育を専門家が中心となり、小学校との連携において、話し合いやコミュニケーションを効果的にするファシリテーションの技術を活用した指導方法と教材を開発し、それらを用いた実践を行うことができた。</p>
研究成果の発表状況	<p>平成30年度から平成31（令和元）年度においては、教材の作成と実践に焦点を当てていたため、発表は行っていない。従って、令和2年度以降において、小学校英語教育に関する学会や研修会において発表していく予定である。</p>
学校現場や授業への研究成果の還元について	<p>令和2年度、上越市教育委員会による小学校英語科学力向上支援訪問が実施される。研究代表者は、指導者として、市内の英語専科教師が配属されていない33校及び3名の英語専科教師が授業を公開する学校の計36校を訪問することになっている。その際、本研究の成果を提示することによって学校現場や授業に還元する予定である。</p>

【提出期限】 令和2年3月31日（火）：厳守